

平成目安箱への回答 No.1 (大磯港賑わい創出施設2階のキュービクル設置場所について)

担当主管課：産業観光課みなと推進係 電話 61-5719

要望等内容	回答
<p>3月28日の臨時議会の議案は大磯港賑わい創出施設の工事請負契約の締結についてでしたが、議案の説明資料「2階平面図」のキュービクルの設置場所について、考え直しをお願いします。</p> <p>図面上のキュービクルの設置場所は水揚げ場の屋根の南側部分の思い切り風雨にさらされる場所であり、水際から数メートルの場所です。</p> <p>調べたところでは、キュービクルは屋外に設置よりも屋内が望ましいようです。屋外など、湿気や塩分、排気ガスにさらされる過酷な環境でキュービクルを使用する場合、それぞれの要因に対応する対候性や耐久性のある外箱の仕様を選定しなければならないし、屋外に設置するのであれば、内部に水が浸入しないよう防雨・防湿対策を行う必要があるようです。</p> <p>また、塩分を含んだ風を受ける湾岸部であれば、表面塗装を耐塩害仕様とする。湾岸に300m以内に近接している場合は重塩害対策として塗装を更に厚くしたり、亜鉛容赦鋼板の採用、給気口への除塩フィルター取り付けといった追加対策も検討しなければならないようです。</p> <p>更に鳥のような小動物や虫の侵入による事故を防止するための追加投資も必要なようです。</p> <p>もう1つ理解できないことは海を一望できるテラスの前方にキュービクルをおくことです。高さが2.2mのキュービクルを隠すために2.5mの高さの壁を作るようですが、3.75m幅で奥行きが7.5mの箱がテラスで海を見る時に常に前方にあることとなります。</p> <p>この施設の最大の売りは高い位置からさえぎるものがなく美しい海の景色が見られることではないかと思えます。観光に訪れた人が屋外テラスでお茶を飲みながら水平線を眺められたり、花火を見たり。さえぎる物がなく広がる海の景色に出会えることがこの施設を訪れた人への最高のおもてなしになるのではないかと思えます。</p> <p>江の島から伊豆半島へと目を移す時にどんな材質であろうが色であろうが、壁が目に入ってはがっかりではないですか？これから新しい施設を作ろうとしているのに明らかに問題のある物、インスタ映えしない魅力のないものを作ってどうするのですか？</p> <p>茅ヶ崎や平塚にできる道の駅より大きさ、西湘バイパスからの入りやすさでは完全に負けています。よほどの魅力がなければ、わざわざ西湘バイパスを降りて、有料の駐車場に車を止めてまでこの施設を訪れる人なんていないと思えます。小さくても、小粒でも光る魅力ある施設を作ろうとは思わないのですか？</p> <p>台風の際に停電したら、図面の設置場所では復旧作業はできません。キュービクルは研修室を狭くしても室内に入れるべきだと思います。定期的な点検作業も安心して行えると思えますが。</p> <p>室外機は外に置かなくてはいけないのであれば、屋外階段2の手擦4に寄せて設置し、屋外テラスを前方に広げるなどの工夫はできないのでしょうか？風の抵抗の少ない場所に設置の方が望ましいと考えます。</p> <p>これからまだ4億円も使って作るのですから、いい加減なものを作らないで下さい。大磯を訪れた友人を「ここからの景色は最高なんだよ」と言って連れていけるような施設をつくってください。訪れた人が何度も来たいと思うような施設を工夫してつくってください。町民に理解され、少しでも愛される施設にしてください。それができないのなら今からでも漁協施設の建て替えのみに変更してください。私たち町民に背負わなくてもいい借金を背負わせるのですから。</p> <p>オリンピックに間に合うようにという言葉がまだ聞こえていますが、オリンピックは、たった2週間くらいの行事です。そんな行事に合わせるために、慌てて作るのだけは絶対にやめてください。</p>	<p>町政につきましては日頃より御理解、御協力いただきありがとうございます。</p> <p>大磯港賑わい交流施設につきましては、経年劣化による老朽化の著しい漁業協同組合の施設の建替えにあわせて、神奈川県が平成19年度に策定した大磯港活性化設備計画に基づき、町の賑わい交流の拠点となることを目指し、現在の漁業協同組合の位置で整備を進めております。</p> <p>大磯港賑わい交流施設は、レストランや物販施設を含む賑わい創出施設と大磯二宮漁業協同組合施設を併設した施設であり、漁港区内の限られた敷地を最大限有効活用する必要性から、大磯港賑わい交流施設の2階の位置にキュービクルを設置する計画としており、屋外への設置となりますが、風雨や塩害に十分対応した重耐塩害仕様としております。</p> <p>また、お客様が大磯港からの眺望をお楽しみいただけるように、可能な限り南側にキュービクルを配置することで施設からの眺望を確保できるように配慮しております。</p> <p>大磯港賑わい交流施設は、今年度より整備工事を進めてまいりますが、地元の農水産物や加工品、町の特産物等を取り扱う「賑わい創出」の拠点として産業の活性化や大磯の海や港をとおり、町の魅力を発信できる交流の場となるよう整備を進めてまいります。</p> <p>このたびは、御意見をありがとうございました。</p>

目安箱受付日：H31. 4. 1

掲示日：H31. 4. 19